

本会は、本校の

- 地域共同テクノセンター：地域連携担当
- 国際交流委員会：国際連携担当
- 秋田高専産学協力会：地域の会員企業90社

と連携を深めることで、産産学連携による実践的共同教育プログラムを高度化し、課題発掘／解決するグローバル人材を育成・輩出します。

### ご賛同／ご支援いただける企業の皆様へ

おかげ様をもちまして、秋田高専は毎年就職の求人倍率が20倍以上という驚異的な数値を維持しています。今後、地方創生による若者の定着という国策により、首都圏と地方の人的バランスも変化することが予想されます。

地域にある高専の役割も、これまで以上にグローバルな視点に立ち、優秀な人材を確保し、育成・輩出することが求められます。

これらのことを踏まえ、本校が進める「グローバル人材育成会」の趣旨にご賛同いただき、継続的にご支援いただける日本全国の企業様から、年度毎のご支援（1口5万円）を賜りますようお願い申し上げます。

会員となられた企業様は、年に1回のペースで、学生との面談形式の交流会やこれに合わせて開催する学生／教員による研究シーズ発表会、就職担当の個別面談会等にご参加いただけます。また、将来的には、「秋田高専産学協力会」との合同イベントを計画します。

### 地域企業および在校生の皆様へ

地域企業の皆様にも、本会の趣旨にご賛同いただき、本会への入会をご検討いただきたく存じます。

秋田高専の在校生諸君には、本校や秋田の枠を超え、国内外との連携によって高度化した問題解決型（PBL）教育、インターンシップ、課題解決研究等に触れ、自らが実践することでグローバル人材へと飛躍して欲しいと考えています。

### グローバル人材育成会へのお問い合わせなど

〒011-8511 秋田県秋田市飯島文京町1番1号  
 秋田工業高等専門学校総務課課長補佐(総務担当)  
 E-mail : coop-edu@akita-nct.ac.jp  
 TEL : 018-847-6107 FAX : 018-857-3191  
 URL : <https://www.akita-nct.ac.jp/NITAC-GHRD/>



発起人代表：秋田高専 校長 植松 康  
 世話人代表：秋田高専 物質・生物系 丸山 耕一



## 『秋田工業高等専門学校 グローバル人材育成会』 創設にご支援ください！

秋田高専がかわる！  
次世代型教育プログラムを導入！！

グローバル人材の発掘／育成に、  
日本全国の企業／地域／海外が  
一体化する！

参加企業様募集！

## グローバル人材育成会とは

秋田高専では、本校内外の知を結集することで持続的社會を構築するグローバル人材の発掘と育成、受け入れにご協力いただける民間企業の皆様によって構成される「グローバル人材育成会」を創設します。

グローバル人材とは、グローバルな視野や経験を活かして、地域社会や地域経済に貢献出来る人材であり、本校はグローバル人材を発掘・育成し、国内外に輩出する拠点となることを目指します。

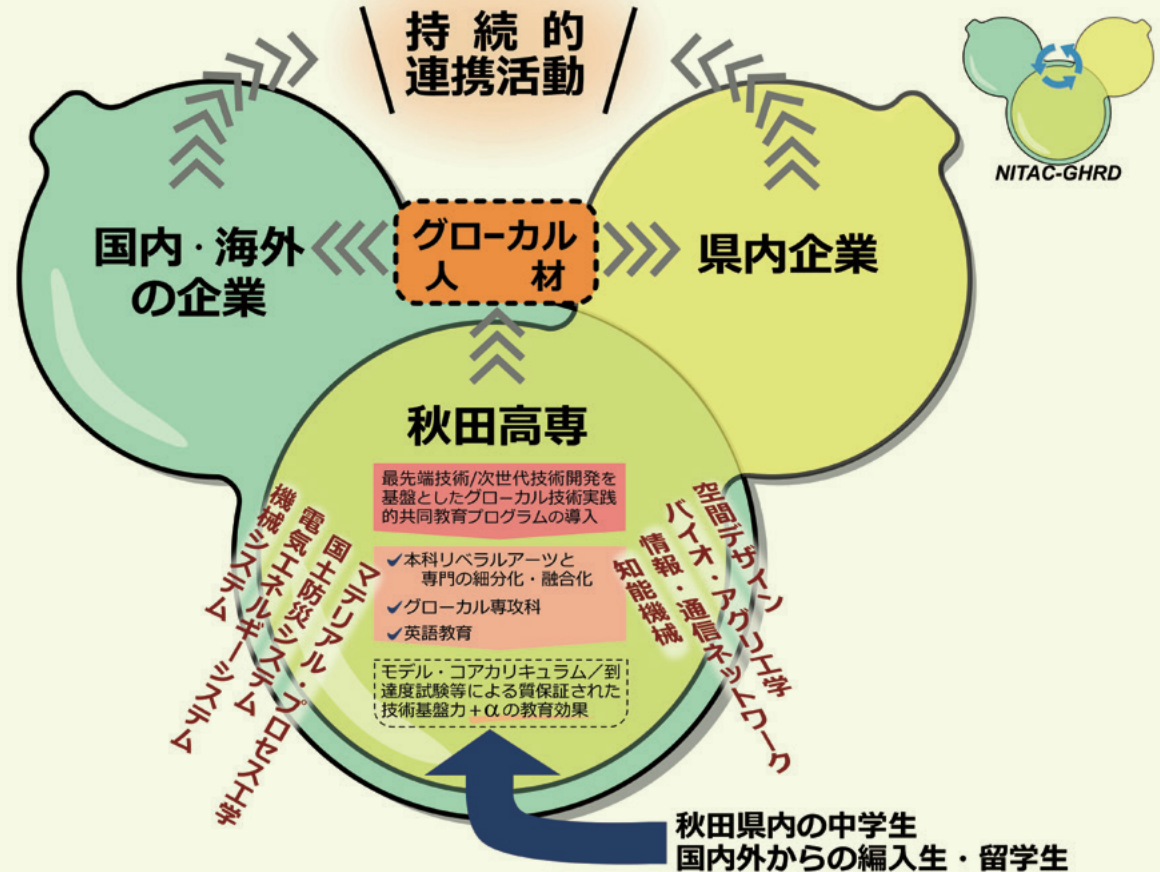
## 本会のねらい

- (1) 国内外で活躍するための教養的基盤と専門的知識／技能を有する人材
- (2) 国内外の技術ニーズを技術開発／基盤研究によって解決できる人材
- (3) 本科5か年あるいは専攻科も含めた7年の、秋田高専内外の知と技術を結集した高度なエンジニアリングデザイン能力を修得した人材
- (4) グローバルな視点を持ち、地域社会のみならず国内外に貢献できる人材を育成する実践的共同教育プログラムを実施するグローカリゼーションの拠点を形成します。

## グローカリゼーションの拠点では

首都圏等全国の企業様等が保有する最先端技術／次世代技術のシーズと資金を活用して、秋田高専の学生をグローバル人材へと育成します。

この実践的共同教育プログラムを、リベラルアーツ、専門性、グローバル性、地域性を特色とする教育カリキュラムに有機的に結合させます。



これにより、

1. 秋田高専の学生を質保証されたグローバル人材として持続的に地域内外、国内外に輩出します。
2. 全国と地域の企業（産と産）と秋田高専（学）の学生が参加する産学連携研究を実践します。
3. 拠点を核として、全国と地域の企業が、人材交流と技術交流によって連携を深めます。
4. 留学生等の海外人材をグローバル人材として、国内外、地域内外に輩出します。

## 実践的共同教育プログラム

秋田高専に、最先端技術／次世代技術開発を基盤とした実践的共同教育プログラムを導入し、本科（1学科4学系制）の機械系／電気・電子・情報系／物質・生物系／土木・建築系の4学系、さらには、高学年での8コースに細分化され英語教育を重点化した専門教育、地域性と国際化に対応する専攻科（令和4年度改組予定）と接続させ、更に英語教育、モデル・コアカリキュラム等を連結させ、グローバル人材の質は保証されます。